

4.

『ひとあし先に春を告げる南房総 Country Walk』

花の南房総 COUNTRY WALK 2001. 2. 24.

mnmbso1.htm by M.Nakanishi



- 4.1. ひとあし先に春をつげる南房総 Country Walk
- 4.2. シンガポール植物園の姉妹植物園 南房総パラダイス
- 4.3. 南房総 千倉 花摘みのお花畑
- 4.4. 南房総 「くじらのたれ」

4.1. ひとあし先に春を告げる南房総 Country Walk



〔南房総パラダイス大温室と菜の花〕



南房総千倉の街の花畑



南房総千倉 花の絨毯

2月24日 南房総の一早い 花の春の便りをお届けします。

今日はまた 非常に寒くみぞれが降っていますが、暖かくなったり寒くなったり。

久しぶりに家内が柏に出てきています。

先週の土曜日 以前から「行って見たい」と言っていた南房総館山から フラワーラインを通過して野島崎灯台 千倉の街へ一歩早い春の花を見に出かけました。私にとっては10年振りの南房総 walk。天候は曇り・霧雨が降ったり止んだりのあいにくの天候でしたが、例年この時期花を求めて多くの人でごった返す道。人が少なくて好都合。館山から野島崎・千倉の街へ至る海岸砂丘沿いの道には「菜の花」が満開。南房総パラダイスの熱帯植物園の大温室もブーゲンビリア・ペゴニアや色々な種類のランで満開。

南房総の一早い春の花 2001.2.24.

〔南房総パラダイス シンガポールの匂いをはなつ大温室の花々〕



〔野島崎灯台〕



〔花摘みの店と千倉のお花畑〕



千倉の街の丘もカラフルな花の絨毯。見渡す限り咲き誇るポピーを眺めながらの「アフタヌーン ティー」でも.....とおもったのですが、10年経つと随分かわってました。
「花摘み」の旗が立ち並びストック 金盞花 ポピーなど違う花が、畑の畝毎に栽培され、カラフルな花の絨毯かパッチワークの様相。
久しぶりに海と山を背景に咲き誇る花の香りと色を満喫。



千倉 お花畑で 2001.2.24.

千倉から 浅田次郎の「天国への100マイル」の舞台となった鴨川の海岸に建つ「亀田病院」のそばを
通って九十九里浜の南端 大東崎のある岬町へ。そこから、北へ真っ直ぐ伸びる夕闇の九十九里の海岸
をドライブ。
早春 花の南房総の海岸をグルッと一周して柏に帰りました。
日曜日には千葉浜幕張の界隈の散歩へ。新しく出来た「アウトレットモール」
とフランスから進出した大型のスーパー「カルパール」へ。
多くの若いペアに混じって雰囲気を楽しんできました。
これからは 戸外へ出る絶好のチャンス 一足早い春を楽しみました。

4. 2. 南房総 花の写真 file .1

シンガポール植物園の姉妹植物園 南房総パラダイス



4. 3. 南房総 花の写真 file . 2

南房総 千倉 花摘みのお花畑 2001.2.24.



4.4. 南房総 『くじらのたれ』 2001. 2. 24.



〔「AERA」3月15日号より〕

千倉から鴨川へ向う海岸沿いに春の花を栽培し、花摘みの店が並んでいるもう一つの集落があった。その『花摘み』の店に並んで『くじらや』と大きな看板をあげた店が在った。この「くじら家」の入口の看板には大きく『房総名産くじらのたれ』と書かれている。

南房総の海岸沿いをまわっているといたるところでこの『くじらのたれ』の看板にでこわした。店の中に入ると多くの鯨の身などに混じって、中央に『くじらのたれ』とかかれた真っ黒な異様な物がビニールに詰めて-房総土産として売られている。

くじらの肉片のようでもあり、なにか汁・たれを凍らせた物が...? 判然としない。不思議なものである。今までまったくでこわした事のないしろものである。



不思議ついでに『これは なに? どないしてたべるの...?』と店の人に聞くと『くじらの肉の切り身を醤油などのたれにつけて それを干した物。』



くじらのたれ

ちょっとあぶって食べると珍味 酒の肴に最適。珍味である.....』と言う。

要は真っ黒な日本版くじらのビーフジャーキーとの事であるが、真っ黒で不気味。

房総は昔から捕鯨の基地であり、ここ和田浦は今も捕鯨が行なわれている所と聞くので、昔ながらのくじらの加工品であろうと想像するが、異様で買う気も起こらずかえってきたのですが、強烈な印象でした。

帰ってから家内と『なんとも不思議なもの...』と話していました。

ところが 今週買い求めた『サライ』3.15号になんとかの『くじらのたれ』が「房総の珍味」として取上げられ、『くじら家』は房総唯一の捕鯨会社が経営する有名な直営店と書かれていました。

『くじらのたれ』は昔捕鯨が華やかなりし頃の捕鯨の街の保存食。

『固いたれを噛むので、昔の地元の人には歯が非常に丈夫だったという。』

それならば 一度買ってかえったのに.....残念。惜しい事をした。」と今は思っています。

『くじら』は日本伝統の食文化であるが、捕鯨が禁止になって関西でも滅多に口にはいらなくなった。小さい頃くじらの肉をサイコロに切った佃煮やくじらベーコン そしてコロの入った関東煮などくじらで育った世代には 最近の捕鯨の禁止は寂しい限り。

もう 何年まえになるのか、私が子供のころの南極捕鯨がはなやかなりし頃、大阪に図南丸など捕鯨船団が帰ってくるとそのたびに大阪港木津川沿岸の小さな船会社の共同組合に関係していた父が持ちかえるくじらの「尾のみ」が楽しみで 食卓にのぼる鯨のステーキに目を輝かせたものだった。

また山口にいた時も幾度か下関で鯨の肉を懐かしく食べたことがあるが、思ったほどうまくなかった。

神戸で長く僕の肝臓の病気に付合ってくれた神戸白川台のお山の先生は図南丸の船医で南氷洋に行っていたと...

この南氷洋の捕鯨船乗組記の本も出され、何度か話を何回か聞いた事があった。随分世話になりましたが、今はどうされているのか...

「くじら」には本当にいろんな思い出が詰まっています。

今度 房総にいったら是非「くじらのたれ」を買ってこようと思っています。

2001.3.1. 柏にて M.Nakanishi

幾度かに別け、砂鉄の浜を焼き魚と暖めてもらった酒を友達に歩いた九十九里浜。

犬吠崎から直線的に南に伸びる九十九里浜のつきる岬町大東崎からリアス式海岸が続く南房総。

お花畑の千倉 野島崎灯台そして また館山まできれいな砂浜と南国の香りのするフラワーロード。

房総半島一周の再スタートでした。

約10年ぶりの南房総 館山から千倉を通過して岬町まで快適な花のドライブでした。

柏の緑もいいが、やっぱりカラフルな花の香り 花に接すると忘れていた香りにほっとしました。

次回は訪ねられなかった岬町の先輩を訪ね大東崎から九十九里浜飯岡の灯台へと思っています。

「ひとあし先に春を告げる南房総 Country Walk」

〔完〕